

Let'sベンジョイECO!

コンセプト

私達の暮らす日本は今、「子ども達の学力低下」という教育問題に悩まされています。文科省は早々に週休二日制や「総合的な学習」の廃止を検討する法案を打ち出しました。しかし、法律で子ども達の楽しい休日をなくしてしまってよいのでしょうか??? 法律で縛り学ぶのではなく、もっと気軽に簡単に学校や家庭で学力UPができないでしょうか? しかし、学力低下という今の状況も深刻な問題であり改善していかなければならない点なのです。

そこで私達が目につけたのは、誰もが一日に一度は必ず使用する

「トイレットペーパー」です。

日本は紙の消費率が世界で2位であり、身近で消費される量が多いトイレットペーパーは、リサイクルすることが難しいといわれています。

私達は紙の消費率を下げることができないでしょうか? この2つの問題点から“そのいくつかの問題点を一気に改善できないだろうか?”と私達は考えました。そこで私達は2つの問題点を改善するために

「Let'sベンジョイECO!」を提案します。

フリー百科事典「ウィキペディア」より引用



学力低下論

世界平均点 ランキング

2000年

1位	フィンランド
2位	カナダ
3位	ニュージーランド
4位	オーストラリア
5位	アイルランド
6位	韓国
7位	英国
8位	日本
9位	スウェーデン
10位	オーストリア
11位	ベルギー
12位	アイスランド
13位	ノルウェー
14位	フランス
15位	アメリカ

2003年

1位	フィンランド
2位	韓国
3位	カナダ
4位	オーストラリア
5位	リヒテンシュタイン
6位	ニュージーランド
7位	アイルランド
8位	スウェーデン
9位	オランダ
10位	香港
11位	ベルギー
12位	ノルウェー
13位	スイス
14位	日本
15位	マカオ

※OECDの調査による生徒学習到達度

あいつく学力低下論に対して、文部科学省は次第に学力重視へと軸足を移しています。PISA^{*1}とTIMSS^{*2}の結果が芳しくなかったことがその方向転換に拍車をかけました。特にPISAの出題傾向は、新学習指導要領が重視する「生きる力」を試す内容であったことから、調査結果があたえ天衝撃は大きいものでした。公式には日本の子供の学力低下を認めていなかった文部省が05年3月に公表した「文部科学白書」において「我が国の成績は全体として国際的に上位にあるが世界のトップレベルにあるとは言えない状況」と総括するに至ったのです。

(日本の論点, 2006より引用)

たしかに右記のランキングがその事を物語っています。たった3年という歳月でランクを落としています。2002年に導入された「ゆとり教育」というのも関係していると思われるが、他国に比べ著しい低下になっています。

*1 PISA → 学習到達度調査 *2 TIMSS → 国際数学・理科教育動向調査

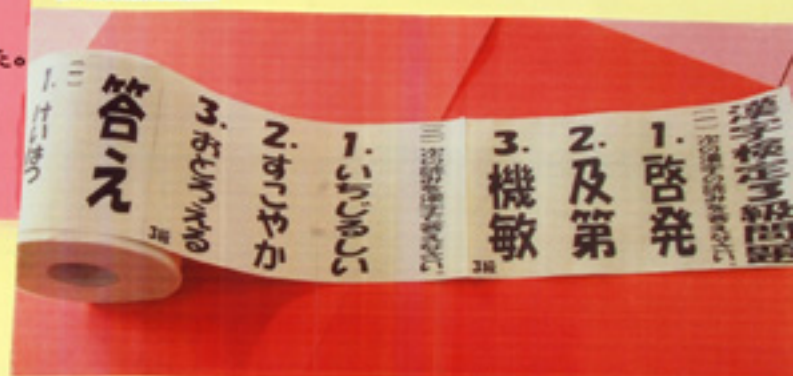
STOP!!



資源のムダ使い 学力低下

右の回は、私達が作った試作品です。
 トイレtpペーパーの使用量を制限することで資源のムダ使いを**STOP!!**
 大切な資源を次世代に残すために、少しでも使用量を減らしたいと思いました。
 一区切りも通常のトイレtpペーパー(約50cm)にすることで
 無駄な紙の量を減らします。
 ちぎりすぎ"てしまったら次の問題がわからなくなってしまうので、
 したがって**切り率よく制限**することが出来ると思います。

試作品



現在販売されているモノ(☺)



左の写真は、現在販売されているデザインの
 トイレtpペーパーです。
 普通のトイレtpペーパーに、クイズや絵が
 書いてあって、とてもおもしろいものです。
 しかし、私たちが考えた試作品は、
 資源を重視したトイレtpペーパーです!!!!
 楽しいだけではなく、**資源のムダ使いをカット**
 しつつ、**楽しみながら学力低下を防ぐ**
 2つの**利点**があります。



まとめ

この「トイレットペーパー」が各家庭に普及していけば、簡単に気軽に学力を身につける事ができます!!
学力を身につければ「学力低下」問題もなくなり、週休二日制や総合的な学習の時間の廃止もくい止める事が
できます。

それによって、今までのように、土日を楽しく過ごすことができ、子供達が自ら進んで学習する事で

世界で日本人が認められ活躍できる場

日本人が求められる場が増えていくでしょう。

また、紙の引き出しを制限することで、コンセプトでも取り上げた

紙の消費率を下げるという問題も解決するでしょう。

なおかつ世代を問わず誰もが**トイレという空間を楽しむ**

事ができます。これはまさに、一石二鳥ならぬ

一石三鳥ですね!!!

私達は、自信を持ってこの製品、

「Let'sベンジヨイECO!」を提案します。

●○感想○●

ここまでつくりあげるには、沢山のことがありました。3人ど何回も何回も話し合い、やっと決めることができた時ほしても嬉しかったです。この話し合いを通して、協力することの意義を学ぶことができました。自分達の納得の行くものが完成したことと私達自身も大きく成長することができました。



● 実際に使った時の様子。